

おきたま大豆づくり情報 No.3

平成 29 年 8 月 23 日
J A 山形 おきたま
オールやまがた米づくり日本一運動
置賜地域本部実践班

開花盛期は平年並みの「8月2日頃」（里のほほえみ等） マメシクイガ・紫斑病の適期防除と 収獲を見据えた雑草対策で上位等級（2等以上）確保を！

1. 病害虫防除

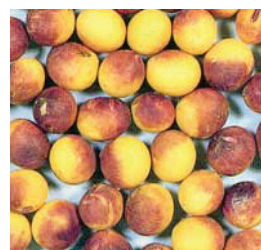
- 紫斑病、マメシクイガは、収量・品質に大きく影響を及ぼします。
- 適期を逃さないように防除しましょう！
- 莢まで薬剤が十分付着するようていねいに散布しましょう

① 紫斑病

- 開花期 25日～35日後に必ず薬剤散布

〈特徴〉

- ・開花期以降比較的涼しく、雨の多い年に発生が多い → **今年は特に注意！**



紫斑病の被害粒

② マメシクイガ

- 8月25日頃と9月上旬（前回散布10日後）の2回実施薬剤散布

〈特徴〉

- ・連作圃場ではマメシクイガの密度が高まり被害を受けやすくなる
- ・マメシクイガは、大豆の病虫害の中でも被害が最も多い



マメシクイガの被害莢

2. 雑草対策

- 大型雑草は汚損粒の原因に！
→ 刈取り前に手取りで防除
- 難防除雑草（帰化アサガオ類やイチビ等）は種子を作らせないことが第一！
→ 今すぐ抜き取りの徹底を！



イチビ



マメアサガオ

ゆとりのある計画で、農作業事故防止を！農薬の適正使用と記録に努めましょう
最新の農業情報は「あぐりん」(<http://agrin.jp/>) から！